

校

医



第359号 平成20年6月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 長村吉朗

会長 長村吉朗

5月18日広島市において、第59回指定都市学校保健協議会が広島市学校保健会及び広島市教育委員会の主催により広島国際会議場で開催され、学校医会より私と平位副会長、林専務理事、福持常任理事の4名と星谷耳鼻科医会理事の合計5名が京都より参加いたしました。私は全体協議及び記念講演と第2分科会「保健管理」の概要につき報告をいたします。その他の分科会の内容につきましては他の記事をお読みください。なおその際、第3分科会「心の健康」において、平位副会長が一昨年より開始いたしました心のワンポイント相談につき紙上提言を行われました。

協議会に先立つ17日には広島市医師会主催の研修会が開催され、各科研修会の後広島平和記念資料館館長 前田耕一郎氏による「原爆・平和学習について」の講演が開催されました。原爆投下による死者が投下直後から6ヶ月間で14±1万人と聞き、又その際見せられたいくつかの写真に広島を初めて訪れた私は知ってはいたものの恐怖を覚えました。しかし同時につい最近起こりましたミャンマーでのサイクロン被害の死者・行方不明者が13万人とも、又中国四川省地震の死者が2.5万人（当日の数です）とも聞いておりましたのでそれと重ねて考えがまとまりませんでした。

翌18日に開催されました協議会は、以前の十四大都市学校保健協議会から改名され指定都市学校保健協議会となったもので、今回も新潟市の加入が承認され、これにより今後は札幌、仙台、新潟、さいたま、千葉、川崎、横浜、静岡、浜松、名古屋、京都、大阪、堺、神戸、広島、北九州、福岡の17政令指定都市が加盟都市となります。来年度の開催都市は千葉市で5月10日と決定されました。その後は、大阪、

京都市の順で開催される予定となっております。

記念講演は映画館館主 森本順子氏による「映画任侠伝/仁義ある戦い こういう映画人になりたい」で、映画に対する館主の熱い思いをさらに熱く述べられました。

第2分科会の口頭提言では札幌市立定山溪小学校・札幌市立定山溪中学校 学校歯科医 平山泰志氏「むし歯研究所」シリーズ&和・歯・8020ワールド」では、指定校になつてから6年間の児童数31名の学校における健康教育への取り組みが述べられました。川崎市立南加瀬小学校 養護教諭 田中雅子氏「心とからだの健康づくり ～生活リズムに視点をあてて～」では、生活リズムに対する保健学習・保健指導の試みが報告されました。名古屋市立八事小学校 教諭 山田浩嗣氏「歯や歯肉を大切にする児童を育てる保健指導」では、子どもたちに対する歯磨き指導の試みが報告されました。広島市学校保健会内科的疾患対策委員会生活習慣病予防対策部会部会長 永田忠氏「生活習慣病予防対策に関する調査研究—第二報—」では、肥満・痩せに対する対策をファイザー社製ソフトUpsee Ver.3.0を使用して行った試みにつき報告されましたが、太りすぎ（肥満度50%以上）の子どもの場合なかなか指導が実を結ばず、やや太りすぎや太り気味の子どもに対する指導は時として効果があると報告されました。紙上提言では、仙台市立鶴谷特別支援学校 養護教諭 鈴木良子氏「特別支援学校における肥満軽減のための一試み—保護者や栄養士と連携した「健康教室」を通して—」、静岡市立東豊田中学校 養護教諭 時森美穂氏「明るく元気な笑顔を求めて—コンピュータゲームと子どもの生活のかかわりを中心に—」、堺市学校薬剤師会 副会長 門田理氏「禁酒禁煙および薬

物乱用防止教育」、北九州市立赤崎小学校 学校歯科医 田中博氏「「学校歯科医」と「学校・地域」との連携の重要性」、の4題が提示されました。私はこの間第3分科会の平位先生の紙上提言に移動したため、これらの内容に関しては報告できません。ただ昨年もありましたが、紙上提言の名称のためか当日時間の配分の違いはあるものの口頭での報告に対する説明の時間が与えられることを知らず欠席する提言者が多く、第3分科会でも2名の欠席が見られました。今後同じような運営がなされるなら、名

称の変更も検討されるべきでしょう。平位先生の発表に対しては、静岡の野々田先生よりその試みに対する賛同と、学校医のさらなる積極的な参加の必要性が質問されました。その後移動した第4分科会では久しぶりに広島市より色覚検査に関する報告がなされましたが、それに対しどこで聞きつけたものか名古屋より資料を配付しその試みに対する非難がとうとうと述べられ、執念の恐ろしさを感じました。なお、これらの資料は学校医会事務局に御座いますので必要な先生方は遠慮なくご連絡下さい。

指定都市学校保健協議会 第3分科会（心の健康）に参加して

副会長 平 位 喜七郎

5月18日広島で行われた課題別協議会には、心の健康をテーマにした第3分科会に出席しました。ここでは“心の健康課題を克服することのできる支援のあり方や環境づくり”をテーマに協議が行われ、4つの口頭提言と4題の紙上提言が提出されました。

- 1 保健室登校生徒に前向きな変化を促すための組織的対応のあり方 (千葉県)
- 2 教育と医療をむすぶ子どもの精神保健ネットワーク活動 (静岡県)
- 3 子どもたちとつくりひろげる健康教育
～生徒保健委員会の取り組みを通して～ (大阪市)
- 4 心の健康課題を克服することのできる支援の在り方や環境づくり ～心も体も健やかであり続けるための力をもった子どもの育成～ (北九州市)
- 5 食は心の健康をはぐくむ
～教職員全体による食育の取り組み～ (札幌市)
- 6 専門医による学校訪問の重要性 ～川崎市における心の健康相談活動支援事業として～ (川崎市)

- 7 心のワンポイント相談室の立ち上げ
～「LD等子どもの相談事業」～ (京都市)
- 8 支援を必要とする子どもの心のケアについて
～発達障害・不登校・保健室登校児への支援について～ (福岡市)

京都からも7番目に精神衛生研究班が中心となって心の相談室を平成18年10月に立ち上げて1年半が経過し16例の事例を重ねたこと、精神科医でない内科医や小児科医が市教委と連携しワンポイント相談室を推進していることを報告して参りました。

助言に立たれた広島大学の岡村仁教授（精神科医）は心の問題にかかわるには、子どもの通常の心の発達を知ることが大事であると指摘され、
①子どもの各学年による発達課題を知ること
②心の問題の原因を考察すること
③心の問題解決法に担当者の横の連携が大事なこと
④心の問題にかかわる人のメンタルの大事なことを強調されていました。

第59回指定都市学校保健協議会・学校医研修会懇親会に参加して

京都府耳鼻咽喉科専門医会理事 星 谷 徹

平成20年5月17日（土）指定都市学校保健協議会の前夜祭の一部として耳鼻咽喉科医会研修会が行われました。テーマは“学校医の職務に対する耳鼻科校医の意識について”でした。

特に、耳鼻科校医が各学校で行われる学校保健委

員会への出席率の悪さでした。

その他、校医の定年制の問題、指定学校医の問題でした。時間が無く、各都市からの報告に終わりました。終了後、内科・眼科・耳鼻科合同の懇親会が在りました。

第59回 指定都市学校保健協議会

－ 第1分科会（健康教育）－

専務理事 林 鐘 声

「子ども達が自らの健康を保持増進することのできる健康教育の推進」として4題の紙上提言と下記の口頭提言がありました。

| | | |
|-----|---------------------------------------|------------------------------|
| (1) | 子どもの実態から ～近年増えつつあるアレルギーと健康教育～ | さいたま市立上大久保中学校 養護教諭 迫立 真由美 |
| (2) | 歯科保健事業における新しい試みと、下顎第一大臼歯の重要性について | 横浜市立中尾小学校 学校歯科医 江口 康久万 |
| (3) | 心と体の健やかな成長 ～基本的な生活習慣の確立と積極的な健康づくり～ | 京都市立納所小学校 教諭 嶋本 千人 |
| (4) | 保健室で行う肥満児指導について ～選んで食べてダイエット～ | 福岡市立長丘小学校 養護教諭 島子 志津子 |

(1) さいたま市の小中学校のアレルギー調査結果ではアナフィラキシーショックの既往者は、99小学校で85人(85/68262=0.1%)、54中学校で87人(87/28350=0.3%)と大略1学校当たり1人という結果は目を引きました。さいたま市では小中学校で9年間継続する保健調査票が使われており、京都市でも同様であってしかるべきと思いました。

(2) 全体として歯数が減少している中で、下顎第一大臼歯(6歳臼歯)の歯は減少していないこと、40歳での歯の欠損例では左右の下顎第一大臼歯の欠損が近隣の歯の欠損に波及していることが示されていました。数から質を問う内容で、6歳臼歯の歯予防のための歯みがき指導法の改善を求めています。

(3) 三浦佳太郎教諭が代理で発表。歯と口を切り口とした生活習慣病予防のための生活習慣の確立を目指した多岐に亘る意欲的な取り組みを示す発表でした。フッ化洗口の実施率が97%というところでは、会場には驚きの様子が広がっていました。

(4) 7000kcal消費して体重が1kg減ることを子ども達に教え(140kcal毎日少なくとも50日で、1日15分間運動して50kcal消費すると140日で1kg減

る)、努力の結果はローレル指数でその変化をプロットして示して子ども達のやる気を引き出し、「食べたいけれど先生に誉められたいから我慢する」とする人間関係を構築することで、ダイエット成功に導いた報告でした。マニュアルでは納まらない個人の熱意が溢れていました。

座長からは各政令指定都市での肥満児への対応についての質問がありましたが、座長名で事前に調査し、その一覧を示した上で討論すべきことであったように思いました。

紙上提言は、口頭提言20分に対して僅か5分しか発表時間がなく、しかも、参加者は当日に初めてその資料を読むわけですから、図表を中心にするとか、一読して判り易く視覚に訴えるものにするとかしないと発表時に参加者に十分な理解を与えることは困難です。

最後は指導助言に30分の枠をとっていましたが、各提言に新しい光を当てるわけでもなく、おさらいと讃辞に20分以上費やしたのでは無駄で、時間配分に検討余地があるようでした。3年後には京都市が主催します。発表者を含め参加者により多くの実りもたらされる協議会であって欲しいものです。

成人の百日咳が多発!!

感染症研究班 竹内 宏 一

百日咳は乳幼児、小児の感染症であると一般的には認識されている。乳幼児の罹患率は、DPTワクチンの高い接種率のおかげで減少したが、近年成人の百日咳感染が増加傾向にあり注目されている。小児科定点観測でも増加し、15歳以上の感染率は氷山の一角で実際にはかなり多いと思われる。

2007年5月～7月のあいだに、四国の2国立大学医学部での集団発生があり、学生、職員に多数の発症例が確認された。更に、青森県の消防署でも署員、友人、家族での集団発生も報告されている。呼吸器、アレルギーの専門医の間では、成人の頑固な長期に続く咳は、百日咳感染症を疑うのが常識的になっている。発症原因は、予防接種率の低下、予防接種による免疫持続期間が不十分、流行株の変異等が考え

られるが、ワクチンによる免疫持続の低下が一番考えられる。その理由には、諸外国では追加免疫を、百日咳を含んだ3種混合ワクチンで実施しているのに対して、日本では追加免疫を12～13歳に破傷風、ジフテリアの2種混合で実施している点が起因しているものと考えられる。

更に成人の流行を助長している理由として、乳幼児の百日咳と異なり、成人ではその診断が比較的困難な点が指摘されている。学校医としては、学校、家庭での流行を予防阻止するために、充分注意する必要がある。その為、「百日咳診断の目安」を参考にしてもらえれば幸いである。なお、詳細について「京都医報」を読んで頂きたい。

百日咳診断の目安 2008 (案)

臨床症状14日以上咳があり、かつ下記症状を1つ以上伴う

- 1 発作性の咳込み
- 2 吸気性笛声 (whoop)
- 3 咳込み後の嘔吐 (CHD 1997 WHO 2000)

実験室診断

発症から4週間以内：培養とPCR 4週間以降：血清診断 (CDC, FDA, Hewlett EL 2005)

- 1 百日咳菌分離
- 2 遺伝子診断：PCRまたはLAMP法
- 3 血清診断 (ペアー血清での有意上昇を基本とする)
 - (1) 凝集素価
 - 1) DTPワクチン未接種児・者：流行株 (山口株)、ワクチン株 (東浜株) いずれか40倍以上
 - 2) DTPワクチン接種児または不明
 - A) ペアー血清：流行株、ワクチン株いずれか4倍以上の上昇
 - B) 単血清
 - a) DTPワクチン最終接種から2年以上：流行株、ワクチン株いずれか40倍以上
 - b) DTPワクチン最終接種から2年以内
 - i. 凝集原を含まないワクチン接種児：ワクチン株、流行株いずれかが40倍以上
 - ii. 凝集原を含むワクチン接種児：ペアー血清でいずれかの株の4倍以上の上昇
 - (2) EIA法 PT (百日咳毒素 pertussis toxin)・IgG
 - 1) DTPワクチン未接種児・者：10EU/ml 以上
 - 2) DTPワクチン接種児・者または不明

A) ペアー血清：2倍以上 を基本

B) 単血清（参考） 94EU/ml 以上 （Baughman AL 2004）
100EU/ml 以上 （de Malcker HE 2000）

臨床診断 臨床症状は該当するが、実験室診断はいずれも該当しない

確定診断 1) 臨床診断は該当し、実験室診断の1～3のいずれかが該当する
2) 臨床症状は該当し、実験室診断された患者との接触があったとき

平成20年度 京都市学校保健会事業計画（案）

20. 4. 11 現在

| 年 月 日 | 曜日 | 事 業 内 容 | | 会場又は 開催地 |
|-------------|--------|----------------------|-----------------|----------------|
| | | 京 都 市 学 校 保 健 会 | そ の 他 | |
| 20. 5. 18 | 日 | | 第59回指定都市学校保健協議会 | 広 島 市 |
| 5. 27 | 火 | 第1回常務委員会 | | 総合教育C |
| 6. 17 | 火 | 理事会・評議員会（新旧会長の歓送迎会） | | 新 都 H |
| 7. 17 | 木 | | 第30回近畿学校保健連絡協議会 | 京 都 府 |
| 9. 30 | 火 | 第2回常務委員会 | | 総合教育C |
| 10. 28 | 火 | 学校保健会健康教育シンポジウム（仮） | | 総合教育C |
| 11. 6 ～7 | 木 金 | | 第58回全国学校保健研究大会 | 新 潟 県 新 潟 市 |
| 11. 29 | 土 | 第44回京都市学校保健研究発表会・表彰式 | | 未 定 |
| 11. 29 | 土 | 表彰祝賀会・懇親会 | | 未 定 |
| 21. 2. | | | 学校保健センター事業報告会 | 東 京 都 |

その他の事業・会議等

- (1) 会誌 107・108号及び集録の刊行
- (2) 会 議……常務委員会、企画・広報・研究・表彰委員会、支部長会
- (3) 連絡会……支部連絡会、研究実践助成校連絡会

京都市学校医会事務局に電子メールを開設いたしましたので、ご活用ください。

E-mailアドレス gakkouikai@arrow.ocn.ne.jp

第2回 常任理事会

平成20年6月7日

於 事務局

出席者 長村会長、奥村・平位副会長、林専務理事、井上・福持・井本・大久保各常任理事、星谷耳鼻咽喉科専門医会理事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 第3回人づくり連続講座 5/15
2. 第59回指定都市学校保健協議会「眼科医会研修会」・「耳鼻咽喉科医会研修会」並びに「内科・眼科・耳鼻咽喉科学校医合同研修会」 5/17 今月号参照
3. 第59回指定都市学校保健協議会 5/18 今月号参照
4. 心臓相談 5/21
中2女子 PVC E可
中1女子 QT延長 E禁
5. ワンポイント相談 5/22
暴力行為の目立つ小学生、児相受診
6. 近畿学校保健学会新旧合同幹事会 5/25
7. 京都市学校保健会 第1回常務理事会 5/27
8. 社団法人京都市私立幼稚園協会・京都市私立保育園連盟との面会 6/2
9. 色覚相談 6/3
10. 第1回人づくり21世紀委員会 6/3
11. 精神衛生研究会 6/5
8人出席 アスペルガー症候群
12. その他 アレルギー疾患用-学校生活管理指導表

<協議事項>

1. 市教委との懇談会での協議内容について
 2. 校長会との懇談会での協議内容について
 3. 養護教育研究部会の懇談会での協議内容について
- ※ ①MRワクチンⅢ、Ⅳ期の実施
②保健調査票の9年間活用
4. 平成20年度京都市小学校記録会医務役員派遣について
 5. 京都市学校給食係に対するメンタルヘルス講演会講師依頼について
 6. 人づくり21世紀委員会担当者について

7. 理事会等の連絡についての電子配信について
8. 平成20年度京都市学校保健会理事会・評議会の開催について 6/17 新都ホテル
9. 京都市学校保健会新旧会長歓送迎会について 6/17 新都ホテル
10. 第30回近畿学校保健連絡協議会について 7/17(木) 府医師会館、京都府学校保健会が主催
11. 京都市内の幼稚園・保育園の園医の組織化について
京都小児科医会と連携して取り組む
12. 会誌について
13. その他

<関連学会・各種協議>

1. 第25回京都府歯科保健文化賞表彰式 6/8 長村出席
2. 第8回「こどもの心とからだ」教育講演会 6/14 2:00pm リサーチパーク
3. 三師会 6/14 6:00pm ブライトンホテル
4. 平成20年度京都市学校保健会理事会・評議員会 6/17
京都市学校保健会新旧会長歓送迎会 6/17
5. 心臓相談 6/18
6. 近畿学校保健学会 6/21 ホテルアウィーナ大阪
7. ワンポイント相談 6/26
8. 南支部会 6/28
9. 学習障害に関する講演会 7/3 2:00pm
こどもみらい館
10. 校園長部会との懇談会 7/5 5:00pm
ちもと
11. 第3回常任理事会 7/5 2:00pm

京都府医師会指定学校医制度 単位取得講演会のお知らせ

「新型インフルエンザに対する 事前準備と緊急対応について」

とき 7月5日(土) 午後6時

ところ マリアージュグランデ

(南区烏丸八条アバンティ8F)